

# 地域の宝は地域の仲間で守る (天保古山の平家一本桜保全活動による地域の魅力度アップ)



- 地域資源の一本桜を地域の力で守る活動
- 地域の魅力アップで「みかんの里」の活性化



## 集落の挑戦

### 地域の宝を知ってほしい!

○毎年美しい花を咲かせる一本桜は地域住民の誇り。  
○この地域の宝を守りながら、「みかんの里」山川町を盛り上げたい。



【天保古山整備】

## 取組内容

### 地域で一本桜を守ろう

多面的機能を増進する活動の一環として、一本桜の保全活動を開始。集落協定参加者で、桜を支えるワイヤーの設置や施肥、登山道や照明整備を実施。



### 多くの人に桜を見てもらおう



【ライトアップ照明設置】

【登山道の整備・管理】

## 取組の成果

### 「みかんの里」へようこそ!

○集落協定の取組を契機に、市も桜へつながる道に案内看板を設置。市内外から地区を訪れる人の増加。



【案内看板設置】

【交流人口増加】

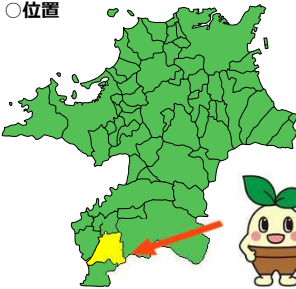
### 「みかんの里」の魅力度アップ



活動を継続していくことでテレビ中継で取り上げられる等の反響もあり、写真愛好家が四季を通じて地区を訪れるなど人の交流が活発に。

## 取組地域の概要

### ○位置



みやま市

### ○主要作物

- ・なす・セルリー・アスパラガス
- ・トマト・キュウリ・菊・高菜
- ・みかん・いちご・スモモ・ぶどう

### ○地域の概要

・みやま市は、福岡県南部に位置し、東部には筑肥山地の山々が連なり、中心部には肥沃な筑後平野が、西部には有明海の干拓によって開かれた低地が広がる。温暖な気候で日照時間が長く、山間部では果樹栽培、平地では施設園芸が盛ん。中原集落協定の属する山川地区は傾斜の厳しい山林に囲まれており、その地質が砂壤土で耕土が浅く排水性が高いことから「山川みかん」の一大産地である。

- 集落協定の概要(R3現在)
- 面積：3.8ha(田) 22.2ha(畑)
- 交付金額：273万円
- 個人配分50%
- 共同取組活動50%
- 構成員：農業者18人
- 協定開始：平成12年度

### 中原集落協定



### 天保古山の平家一本桜



樹齢250年といわれる、幹回り2.8mのヤマザクラ。「源平合戦」最後の激戦地となった要川を見おろすように、天保古山山頂に立つ。

## 1 集落の概要

中原集落はみやま市東部の旧山川町の山間地に位置し、平家伝説ゆかりの滝と伝わる七霊の滝など豊かな森と水に恵まれ、夏はホタルの飛び交う自然豊かな集落です。五穀豊穡を願う地域伝統行事「中原風流」が現在も受け継がれています。

みかんの栽培が盛んで、近年は、北原早生をはじめとする優良品種の導入、シートマルチ栽培推進による品質向上、そして南筑後農業協同組合柑橘部会の先駆的な取組である「園地登録制※」の導入などにより、高品質ブランドみかんの産地として知られる「みかんの里」となっています。



※「園地登録制」とは①生産者が園地毎に取り組むブランドを申請、②ブランドに応じた基準（糖度・酸度、シートマルチ被覆時期等）に沿って生産、③ブランド毎に集荷・選果し販売及び精算を行う制度です。

## 2 取組の経緯

- ・地域住民の宝である一本桜を地域住民の手で守ろうと、地域住民で草刈等の活動を開始しました。
- ・15年ほど前から、中山間地等直接支払制度の中原集落協定の参加者を中心とした活動になりました。
- ・より多くの人に一本桜の魅力を知ってもらおうと、登山道の整備やライトアップにも挑戦しています。

## 3 取組の内容

- ・一本桜周辺の景観を保護するために、雑木伐採や草刈を実施するほか、登山道の整備、桜の幹や根の保護のためワイヤーの設置をしています。
- ・また、桜の開花時期には、タイマー式のライトアップ用照明を設置しています。



## 4 取組の成果

- ・桜の開花時期には、テレビの生中継で報道されなど知名度がアップ。集落到に伝わる平家伝説や、地域の取組を紹介する番組も放送されました。
- ・市内外からの観光客も増加したため、駐車場案内看板などを市が設置。市を代表する人気スポットになりました。
- ・中原集落協定の取組みにより、一本桜が「みかんの里」を知ってもらうきっかけのひとつとなっています。



## 5 人材、資源、制度の活用方法、工夫

- ・当初は、桜の根を保護するために周囲に柵を設置し、見物客が立ち入らないようにしていましたが、より自然な姿の桜を見て欲しいとの声が協定参加者からあがったことから対応を協議し、柵を撤去。中山間地等直接支払制度の交付金の中から、桜の根元の土づくりの費用を支出できるよう集落で話し合い、定期的に施肥を実施しました。



## 6 苦労した点、克服方法

- ・一本桜が尾根に位置するため、落雷や強風の影響で、枝折れや地滑りの被害を受けやすく、そのたびに対処が必要です。
- ・樹齢250年の古木であり、根周りが弱く、見物客の増加に伴って根が傷ついてしまうので、定期的な施肥なども必要となっています。
- ・登山道についても、協定参加者で担当を決め、草刈り等の整備を実施しています。



## 7 集落の今後、他の地域に伝えたいこと

- ・令和4年4月の開花時期に、一本桜を目指し歩く見物客向けに「誰でもできる桜の根の保護活動」に協力してもらう取組を始めました。
- ・これは、登山道の麓に枯れ葉・スコップ・袋を用意し、袋に詰めた枯れ葉を持って山を登ってもらい、見物客自ら、そっと桜の根を枯れ葉で覆ってもらうもので、見物客が自分の手でできる保護活動を行ってもらうことで、より愛着を持って桜に親しんでもらうことが狙いです。桜が満開時期の数日間、家族で訪れた幼児も参加するなど約130人の協力を得ました。
- ・これからも、自然のままの里山の風景を残して地域の魅力を伝えていきたいと思っています。